

平成23年第5回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	12番	石居尚郎 (60分)	<p><b>1. 地域の活性化を 2013年の国体に向けて</b></p> <p>(1)2013年、羽村市でも成年女子バレーボール競技のメイン会場として国民体育大会が開催される。スポーツの祭典だけでなく、地域活性化につながると考えられるが、市の認識と意気込みを聞く。</p> <p>(2)選手団・応援団など、羽村市に来る来場者を4日間でどう予測しているか。</p> <p>(3)商工会、観光協会、社会福祉団体等、市内の団体との連携をどう図っていくか。</p> <p>(4)羽村市開催方針について</p> <p>①実施目標3には、「魅力ある地域づくりを進める国体」とあり、広く市民運動を展開することが述べられている。市民参画、ボランティア等をどう推し進めていくのか。また、国体を契機に、美化ボランティアを推進する考えはあるか。</p> <p>②実施目標4に、「心温まる国体」とあり、おもてなしの心をもって温かく迎えとある。地域活性化を意識した、おもてなしを強力に推進する、「おもてなし担当」を置く考えはないか。</p> <p>③羽村市の文化・観光等の魅力を、開催前にいち早く全国に情報発信する考えはあるか。</p> <p>④2013年に向けて、市の中で国体をどう盛り上げていくか。</p> <p>(5)国体の予算について</p> <p>①本年度予算額は26市で上から何番目か。</p> <p>②本年度近隣自治体の予算はいくらか。</p> <p>③来年度、充実する考えはあるか。</p> <p>(6)安全対策を考慮して、羽村駅通路の拡幅を国体開催前までに実施する考えはあるか。</p> <p>(7)受け入れ玄関口となる羽村駅と小作駅の整備をどのように進めるのか。</p> <p><b>2. 災害時帰宅困難者対策と企業等との連携について</b></p> <p>(1)東日本大震災のような大きな災害が発生し、羽村市民が勤務先等で帰宅困難となった場合の人数をどう予想しているか。</p> <p>(2)帰宅困難となった場合、家族間の安否確認が問題となり、これを解決することが相互の安心につながるとされている。東日本大震災での帰宅困難者の現状と課題をどのように分析しているか。また、災害非常時に、家族間等でつながる情報伝達システムをどう構築しようと考えているか。</p> <p>(3)災害時に自転車や徒歩で帰宅する災害時帰宅支援ステーションを、市民に対してこれまでどのように周知してきたか。</p>	12月6日

2 人目

6 番

大塚 あかね  
(60 分)

- (4) 市内の災害時帰宅支援ステーションの数はいくつか。今後どのように増やしていく考えか。
- (5) 災害時に、小作駅や羽村駅等に多くの市外在住の帰宅困難者が予想される。その際の具体的な対策をどのように取っていくか。
- (6) これまでいくつかの自治体との協定を結んでいる。現状を踏まえた上で、計画的かつ効果的な防災協定を結ぶ必要があると考える。今後の協定のあり方を問う。また、新たな姉妹都市を検討する考えはあるか。
- (7) これまで羽村市と企業との連携を進めてきているがその現状はどうか。時代に即した実効性を伴う協定や連携とするために、今後の展望をどのように考えているか。

12 月 6 日

### 1. 公共の仕事で働く人々の生活の安定について

- (1) 公正・公平、公共サービスの質の向上、労働環境の適正化、地域活性化を目的に公契約条例を制定する自治体が出てきているが、羽村市は公契約条例の目的・意義及び課題をどのように考えているか。
- (2) 総合評価一般競争入札について
  - ①平成 21 年から羽村市においても導入されているが、改めて目的・意義を問う。
  - ②導入後の課題について問う。
- (3) 公契約条例及び、総合評価一般競争入札に対する羽村市の姿勢及び取り組み状況について問う。

### 2. 防災頭巾で児童の安全は守ることができるのか

- (1) 市内小学校では防災頭巾の購入などは各校それぞれであるが、焼失しやすい防災頭巾の使用状況を教育委員会では実態把握しているか。
- (2) 防災頭巾で重い落下物に耐えられると考えているか。
- (3) 折りたたみ式で 5 キロの重さに耐えられるヘルメットを児童に用意する自治体もあるが、羽村市でもヘルメットの検討（助成を含め）をしてはどうか。

### 3. 生涯学習センター「ゆとろぎ」の設備について

- (1) 大ホールのドアのパッキンがはがれているが、放置されているのはなぜか。
- (2) 喫煙コーナーが出入り口横にあり、来館者からも様々な苦情が出ている。外観上、また、教育上、大変に見苦しい。喫煙のための設備は必要ではないか。

**1. 第五次長期総合計画での羽村市の生涯学習について**

- (1)生涯学習基本計画（案）に定める羽村ならではの  
という特徴はなにか。
- (2)生涯学習を行政全般のなかでどのように位置  
づけているか。
- (3)羽村市生涯学習基本計画（案）には、ライフス  
テージごとに、様々な事業が掲げられているが、  
積極的に推進すべきとの立場から、平成 24 年度  
以降どのように具体的に実施していく考えか。
- (4)生涯学習基本計画（案）を通して、どのような  
人材を育成していく方針か。
  - ①幼児教育ではどうか。
  - ②学校教育では、どのような羽村の子どもたち  
を育てていく方針か。
  - ③地域での教育はどうか。
  - ④義務教育終了後の市民への生涯学習ではどう  
か。

**2. 平成 25 年東京国体にむけて、羽村市の対応について**

- (1)平成 25 年に国体が開催されるが、羽村市にお  
ける準備の進捗状況は、どのようになっている  
か。
  - ①国体の会場になるスポーツセンターの改修計  
画と実施内容は。
  - ②国体の運営に必要な経費は、平成 24 年度、平  
成 25 年度、どのようなものがあるか。
  - ③平成 24 年度にリハーサル大会を開催すると  
聞いているが、その規模と内容は。
- (2)平成 25 年度の国体開催に向けて、全国からお  
客様を迎えることになるが、羽村市の玄関とな  
る羽村駅および周辺の整備について、再度伺う。
  - ①開催までに羽村駅舎通路拡幅整備は実現でき  
るか。
  - ②西口広場の整備は、どのようになっているか。  
また大型バスの発着は可能か。
  - ③羽村駅西口より羽村の特色である多摩川周辺  
に至るまでの歩道整備が必要と思うがいかがか。

**3. 公立保育園民営化の進捗状況について**

- (1)公立保育園（4 園）民営化の進捗状況について
  - ①民営化に際し、採用した方式の内容と、どの  
ような検討をされて採用したのか。
  - ②公募するにあたり、市から応募事業者への提  
示した条件内容はどのようなものがあったか。  
またその中に待機児対策は含まれているか。
  - ③応募事業者との質疑応答があったのか。どの  
ような内容なのか。
  - ④他市の実績事例はすでに多くある。問題や課  
題が残された事例は調査し、検討されたか。

4人目

4番

富永訓正  
(50分)

(2) 今後の対応、課題等について

- ①平成 25 年に 2 園の民営化にむけての運営準備のため、平成 24 年度に市と事業者で共同運営をすると聞いているが、具体的役割分担、人件費を含めた経費区分は、どのように計画され、24 年度予算に反映していく考えか。
- ②公立保育園のうち、しらうめ保育園は西口土地区画整理事業区域内にあり、狭あい道路に接し保育環境が良くないと指摘、意見がある。現在換地設計 2 次案が区画整理審議会で審議が進められている。換地先（案）予定と民営化の時期との関連はどのように考えているか。
- ③その他、今後の対応、課題についてどのようなものが検討されているか。

#### 4. 羽村市内、文化財の防火対策取り組み強化を

- (1)平成 23 年 3 月議会において、「市内、文化財となっている建造物の防火対策の取り組みを強化すべき」との質問に、所有者、管理者と協議し防火対策に取り組むとのことであったが、その後の具体的進ちょく状況は。
- (2)個々の建造物の現状を調査、把握し、「羽村市文化財保存事業費補助金」制度の活用、東京都や国の認定支援等、関係者と協議を重ね、防火設備レベルアップ計画を策定し、実施していくべきと考えるがいかがか。

#### 1. ポイ捨て禁止条例（仮称）の制定を

- (1)ポイ捨てが減らない現状を市はどう認識しているか。
  - ①ポイ捨てによるごみの現状
  - ②ポイ捨てによるごみを拾っているボランティアの現状
- (2)ポイ捨て禁止条例（仮称）の制定を急ぐべきではないか。
- (3)制定する場合、罰則規定をどのように盛り込んでいくのか。
- (4)駅周辺等、人が集中するような場所での禁煙エリアを設ける考えはあるか。同時に、喫煙者への配慮として、駅に喫煙所を設けてはどうか。また、禁煙エリアであることを示す看板等をはじめ、歩道上や、歩行者が多い路上に、表示してはどうか。
- (5)市内企業等への徹底と協力体制の強化を。
- (6)条例制定をした際には、周知徹底するキャンペーンをしてはどうか。

#### 2. 高齢者福祉について

- (1)コミュニティビジネスの取り組みについて
  - ①マミーショッピングセンターではどのように取り組んでいるか。
  - ②羽村駅西口パトロールセンター隣の施設の活用状況は。

12月6日

5 人目

3 番

中 嶋 勝  
(60 分)

- ③コミュニティビジネスへの活動支援はどのように行っているか。
- (2) 高齢者向け福祉サービス全般の広報についてどのように行っているか。
- (3) 市営高齢者住宅について、将来的にどのように考えているか。
- (4) 公営住宅に入居できず、民間賃貸住宅に入居、または公営住宅入居希望の高齢者への何らかの支援が必要では。
- (5) 今後、複合型の小規模多機能型居宅介護等の地域密着型サービスの必要性が高くなると思われるが、事業者の進出意欲の湧くような制度が必要では。
- (6) 江戸街道公園の西側入り口に車椅子の方でも利用可能なスロープを設置してはどうか。

### 1. 今後の風対策について

- (1) 樹木の安全対策について伺う。
  - ①台風 12 号および 15 号における市内の被害状況はどうであったか。
  - ②それに伴う市管理樹木の点検・検査等どのように実施されたのか。
  - ③小枝等散乱物の清掃や風で飛ばされた障害物の撤去はどう対応したのか。
  - ④今後の不健全樹木の安全対策はどうするか。
- (2) 樹木以外の安全対策について伺う。
  - ①市内の空き家数の現状とその内、強風で危険と思われる空き家はあるか。
  - ②ごみ置場小屋、仮設トイレ、プレハブ物置等が吹き飛んでいたが、危険と思われる物はどんな物があったか。
  - ③それらへの対策として今後市の取り組みはどうするのか。

### 2. 家庭福祉員制度について

- (1) 家庭福祉員の現況について伺う。
  - ①保育児の年齢別人数は。(0 歳、1 歳、2 歳別に)
  - ②補助員を雇用している福祉員は何名いるか。
- (2) 家庭福祉員へのより充実した環境整備について伺う。
  - ①0 歳児の保育は目が離せないため負担が大きい。支援策を望むがいかがか。
  - ②補助員を必要とし、雇用した場合の助成金を望むがいかがか。
  - ③備品費の使用条件の緩和を望むがいかがか。
  - ④子どもが室内外を荒らすため施設整備費を援助したらどうか。
  - ⑤賠償責任保険の助成を望むがいかがか。
- (3) 障がい児の対応について伺う。
  - ①障がい児の受け入れは可能か。
  - ②発達障害等の疑いを発見した場合の対応はどうするか。

12 月 6 日

6 人目

13 番

濱 中 俊 男  
(55 分)

- ③保育園では見守りに1名つくと聞くが、家庭福祉員にも補助員をつけたらどうか。
- 3. 情報管理・セキュリティー対策について**
- (1) コンピューターウイルス感染について伺う。
- ①市の大切なデータや職員のパソコン等のセキュリティーを聞く。
  - ②感染した場合、業務上どんな影響が想定されるか。
  - ③それらへの感染が生じた場合、業務続行への対応を聞く。
  - ④災害やウイルス感染に備えたデータのバックアップ体制を聞く。
- (2) ホームページについて伺う。
- ①ホームページのウイルス感染からの安全性はどうか。
  - ②有事の際、ホームページの作成・更新を他自治体に代行してもらう体制作りをしてはどうか。
  - ③多文化共生の視点から、多言語での閲覧ができるようにホームページの充実を望むがいかがか。
- (3) 事業継続計画（BCP）を具体的にどう進めるか。

**1. 子育て・教育について**

- (1) 市立小中学校の校舎について
- ①台風等で、雨漏りのする教室はあるか。
  - ②外壁等の滑落危険箇所はあるか。
  - ③校舎の改修計画は。
  - ④老朽校舎の建て替え計画は。
- (2) 教育相談について
- ①教育相談室と小学校・中学校との連携は、どのように行っているか。
  - ②通常の学級の先生の意識を高めるため、適応指導に関する臨床心理等の研修を行ってはどうか。
- (3) 子供に関する事務分掌について
- ①子供の成長につれ、一人ひとりの記録の引継ぎが、子ども家庭部と教育委員会間で問題になることは、なかったか。
  - ②子ども家庭部が所管する事務および福祉健康部が所管する母子の健康に関する事務を、市長部局より教育委員会に移管し、子供に関する事務の一元化を図ることを検討できないか。

12月7日

**1. 防災対策に具体的な「女性の視点を」について**

## (1) 地域防災計画の見直しについて

- ① 地域防災会議や災害対策本部、自主防災組織のリーダーに一定の女性委員の登用をめざすべきではないか。
- ② 地域防災計画に女性の視点を活かした役割を明記すべきではないか。
- ③ 男女共同参画に配慮した地域防災計画をどう具体的に入れていくのか。

## (2) 避難所対策に女性の視点を考える対策について

- ① 間仕切りの高さ、仮設トイレの場所の安全確保、鍵はあるか伺う。
- ② 更衣室、授乳室、キッズルームなどが必要と考えるが、その対策について伺う。
- ③ 女性にとって必需品のお化粧品等を市内の店と災害協定を結んではどうか。

## (3) その他、公明党が実施した「女性の視点からの防災行政総点検」について

- ① 中学校 3 年生に行っている防災教育を受験に配慮し 2 年生で行い、一般市民にも広げ、人口呼吸や A E D の講習会など定期的に市で開催してはどうか。
- ② 女性消防団の人数や現状を伺う。
- ③ 自治体の災害用備蓄物資に障がい者の様々なニーズが踏まえられているか。

**2. 子育て家庭への支援充実について**

## (1) 子育て家庭の活動支援について

- ① 小さいお子さん連れのお母さんもスポーツを楽しめる環境づくりを。
- ② ゆとろぎの「子育てママの読書タイム」事業が 2 回から 1 回への縮小に対する市の考えを伺う。
- ③ 子育て家庭への健康教育の一貫として、保健センターの事業とスポーツセンターと連携し、保育も含めた、軽い運動のできる事業を定期的に開催してはどうか。

## (2) 子育て支援センター機能の充実について

家庭で子育てしている親子等が朝から晩まで一緒に遊べ、食事ができ、子育てママのサークル活動もできる場所を提供してはどうか。

## (3) 赤ちゃん休憩室の民間への拡充について、現状を伺う。

**3. 健康人口を増やす予防対策について**

## (1) がん検診について

- ① 女性のがん無料クーポン券事業の成果と、今後継続した事業となるのか伺う。
- ② 大腸がんの無料クーポン券事業についての考えと、今後実施する場合、検便でもピロリ菌検査が可能であり、実施してはどうか。

8 人目

8 番

橋 本 弘 山  
(60 分)

(2) 健康相談体制の充実について

①健康相談やうつ相談等 24 時間直接専門家が対応する事業を行っている民間事業所があるが、西多摩広域の市町村と連携し相談事業を行ってはどうか。

(3) 不育症について

①不育症について、市として助成についての考えを伺う。

**1. 多摩川に親しみ、多摩川を活かしていくために**

(1) 多摩川を学習、活動、遊びの場所に

①羽村市以外の羽村堰、玉川上水への小学生の年間の見学者数は。

②羽村の小学生が羽村堰、玉川上水以外に多摩川を学ぶ機会はあるのか。

③多摩川の水生物調査の内容と参加人員ほどのくらいか。

④毎年開催されるホテル観賞会の参加人数は。

⑤羽村堰下キャンプ場の利用者は年間に市内、市外どのくらいの人か。

⑥夏の間だけの限定で本流から水をひいた遊び場の提供ができないか。

⑦玉川兄弟像下の河川敷の駐車場が使用できなくなった理由は。

⑧多摩川流域リバーミュージアム(通称TRM)という活動の調査研究をしてみたいか。

⑨多摩川を身近な遊び場や学びの対象にするための取り組みは。

(2) 多摩川を巡る様々な取り組みについて

①多摩川を中心としたフィルムコミッション推進についての考えは。

②奥多摩漁業協同組合第1区、羽村蛭研究会、羽用水組合、はむら自然友の会、羽村観光協会、地区委員会、地元市民などの代表が集い、多摩川についての懇談会を開催し、様々な問題について話し合う機会をつくってみたいか。

③洪水対策、治水対策や魚道整備のために、多摩川流域の自治体との連携、国土交通省、東京都への働きかけなど広域的な取り組みが必要と考えるか。

④これからの課題はなにか。

**2. 住みよい地域社会の実現のために**

(1) 各施設のトイレ状況について

①公共施設内トイレの和式と洋式の割合は。

②公園内トイレの和式と洋式の割合は。

③障がい者用のトイレの設置状況は。

④公園トイレの使用マナーは改善されているか。

⑤今後の設置方針、取り組みについて。

12 月 7 日

9 人目

15 番

水 野 義 裕  
(60 分)

- (2) 防犯灯（街路灯）の設置状況について
- ①現在までの設置要望の件数は。
  - ②今年度の設置状況は。
  - ③設置基準はあるのか。
  - ④設置基準に適合しないケースはどんな場合か。
  - ⑤太陽光発電、LED化への取り組みは。
  - ⑥農地への配慮はどうされているか。
  - ⑦今後の設置方針、取り組みについて。

### 3. 姉妹都市及びその他の都市・大学との提携について

- (1) 姉妹都市、友好都市の定義は何か。
- (2) 現在、北杜市以外のいくつかの自治体とどのような提携を結んでいるか。
- (3) 近隣市の状況は。
- (4) 現在、杏林大学以外の大学と提携を結んでいるか。
- (5) 近隣市の状況は。
- (6) その必要性、重要性をどのように考えるか。
- (7) もっと市民にPRすべきと考えるがいかかか。
- (8) 今後、提携先を増やしていく予定はあるのか。
- (9) 将来、提携をどのように推し進め、活かしていくのか。

### 1. 羽村駅周辺整備について

- (1) 西口駅前広場の整備について
  - ①平成 24 年度以降の計画はどうなっているか。
  - ②交番を移転する工事が進んでいるが、仮設交番の建設費はいくらか。
  - ③以前にも指摘したが、送迎の車でこれまでよりさらに危険な状況になっている。この対策をどう考えているか。
  - ④小作よりの急カーブや駅前広場への小径のカーブなど危険が多い。本格整備までに時間がかかるなら、緩和の対策を講じるべきではないか。
  - ⑤今、農協の駐車場になっているところはどうする計画か。
- (2) 羽村駅自由通路の拡張工事について
  - ①交渉はどこまで進んでいるか。
  - ②今後の見通しは。
- (3) 設備の管理について
  - ①エスカレータの清掃が行き届いていないとの声があるが、現状を把握しているか。
  - ②西口エスカレータについて、利用者が居ないときの運転停止などは適切か。

### 2. 来年度予算編成について

- (1) 「可能な限りその事業の終期を明記する」とある。これは良いやり方だと考えるが、現時点で明記できている事業はあるか、あるとしたらいくつか。

12 月 7 日

			<p>(2)「官民の役割分担の明確化を図り」とあるが、具体的な役割分担が見えてきた点はあるか、あるとしたらどんなものがあるか。</p> <p>(3)「東日本大震災によって明らかになった課題」として防災以外でどんなものが挙げられているか。</p> <p>(4)予算額や達成目標など、数値目標が必要だと考えるがどうか。</p> <p><b>3. 教育について</b></p> <p>(1)法に基づく平成 22 年度の点検・評価報告書について</p> <p>①結果の表示で、「取り組んだ」と「概ね取り組んだ」の違いは何か。</p> <p>②点検・評価結果の判断根拠を、出来るだけ目標・実績・達成率などの数値で示すべきではないか。</p> <p>(2)学校施設について</p> <p>①体育館のフロアのワックス掛けは、どのような判断基準で実施しているか。また、その費用は平均いくらくらいか。</p> <p>②教室や体育館の掃除用具が古くなっている学校があるが、実態を把握しているか。</p> <p>③子どもたちが使う掃除用具が古くなっていることが、情操教育に影響しないか。</p>	
10 人目	2 番	<p><b>富 松 崇</b> (40 分)</p>	<p><b>1. 地域経済の活性化について</b></p> <p>(1)産業活性化推進室が行っている市内企業への支援活動について</p> <p>①企業活動支援員による個別訪問を行った業種別企業数は。</p> <p>②個別訪問を行った 1 社に対する平均訪問回数は。</p> <p>③個別訪問を行った際、1 番多い相談内容は。</p> <p>④その他、どのような支援策を行っているのか。</p> <p>(2)市発注の工事や物品購入の契約について</p> <p>①ここ 3 年間の入札案件数は。</p> <p>②市内業者・市外業者の受注件数は。</p> <p>③入札にかからない市で購入する備品や消耗品の発注はどのようにしているか。</p> <p>④業者の選定はどのように決めるのか。</p>	12 月 7 日
11 人目	18 番	<p><b>川 崎 明 夫</b> (50 分)</p>	<p><b>1. 高齢者向け住宅について</b></p> <p>(1)高齢社会対策の内、生活環境では、住宅のバリアフリー化の促進があるが、市内の公営住宅のバリアフリー化の現状について。</p> <p>(2)高齢者向けの先導的な住まいづくり等への支援について。</p>	12 月 7 日

12 人目

17 番

門 間 淑 子  
(60 分)

- ①バリアフリーの住宅に、安否確認や生活相談を行うスタッフが常駐する「サービス付き高齢者向け住宅」の登録制度がこの 10 月から始まった。入居者保護も強化し、高齢者が安心して暮らせる住まいの普及を目指すとされているが、内容について。
- ②「サービス付き高齢者向け住宅」を市内で登録する、あるいは登録したいとの状況は。
- (3) 先日行われた平成 23 年度羽村市版事業仕分で、「高齢者住宅の管理運営事業」について評価がされました。市営住宅富士見平高齢者住宅は、廃止と見直しが半々であったが、今後の市の対応について。
- (4) 今年の 3 月議会で、高齢者向けの優良賃貸住宅に相応しい設備を持つ民間住宅を公募し、市と入居者双方にメリットの高い民間ストックを活用したらどうかとの質問をしましたが、その後の状況は。
- (5) 「羽村市公営住宅ストック総合活用計画」に基づく今後の「住宅ストックの再生計画」の取り組みは。

## 2. 時代に合わせた運動公園の整備について

- (1) 時代に合った運動公園をどのように考えておられるか。
- (2) 現在、限られた体育施設で様々なスポーツが行われている。それにも限界があると思うが。
- (3) 市内スポーツ団体の専用施設は何があるのか。
- (4) 羽村市サッカー協会は昭和 58 年 5 月に発足している。安定的に年間を通じて試合ができるサッカー場が欲しいと発足当初から要望していると聞いている。28 年も経過していながらいまだにこたえられる理由は。
- (5) 富士見公園（上のグラウンド）を維持管理しやすい人工芝化し、多目的、効率的な利用方法を考えるべきと思うが。
- (6) 交通公園（江戸街道公園）の今後について。

## 1. きめ細かな放射線対策の実施を

- (1) きめ細かな測定と分かりやすい公表を
  - ① ゆとろぎ・図書館・動物公園など、未実施の公共施設も測定してはどうか。
  - ② 市内にマイクロスポットはあると考えているか、ないと考えているか。
  - ③ 測定場所が分かる詳しい公表の仕方はできないか。
  - ④ 私立保育園に測定器は貸し出されているのか。
- (2) 放射線測定器について
  - ① 貸し出し台数を増やしてはどうか。
  - ② 土・日曜日の貸し出しを始めてはどうか。

12 月 8 日

13 人目

11 番

馳 平 耕 三  
(60 分)

(3) 食品の放射線測定器の設置を

- ①消費生活センターに測定器を設置し、農業者・商店・保育園など、誰でも食品の測定ができるようにしてはどうか。
- ②学校給食食材の放射線測定を実施する自治体が増えている。給食センターでも実施するよう、給食組合に働きかけてはどうか。

## 2. 新たに始まる放射線の学習について

(1) 羽村 2 中で公開された放射線に関する理科授業は、好評だったと聞く。

教職員、保護者など、参観者はそれぞれ何名ぐらいだったか。

(2) 公開授業の趣旨は、東京都教職員研修センターが実施した「学習指導要領改訂に伴う放射線の学習指導について」に参加・研修した教諭の成果を、羽村市立小中学校に還元し、学習指導要領に準拠した放射線等に関する理科授業を展開する方法を学ぶ、とあるが、他の小中学校への還元とは、具体的にはどのように進められるのか。

(3) 文部科学省が新たに作成した小中学生向けの副読本は、授業に使われるのか。

(4) 原発事故により、慣れ親しんだ学校・友人・故郷を失った児童・生徒がいることも、避難に伴ういじめや差別が起きたことも事実である。放射線教育ではこのような事実から目をそむけてはならないと考えるがどうか。

## 1. 中学校の授業における武道必修化の意義と安全性について問う

(1) 学校における武道必修化の意義は何か。また、戦後初めて女子にも必修化させる意義は何か。

(2) 羽村市は、武道の中で何故柔道を選択したか。

(3) 現在、羽村市内の中学校の体育教員の中で、柔道の有段者は何%か。

(4) 学校で柔道を教える際の安全指針はあるか。

(5) 学校の授業における柔道の指導において、羽村市教育委員会はどのように安全性を確保する考えか。

(6) 柔道の指導の中で重大事故が起きた場合、どのような補償を考えているか。

## 2. 新学習指導要領への対応を問う

(1) 「ゆとり教育」について、羽村市はどう総括しているか。

(2) 来年度の中学校の授業時数は、3 校で平均して各教科何時間増減するか。

(3) 東京都では、土曜日授業を再開する学校が増えている。羽村市では、来年度、土曜日に授業を行う小中学校はあるか。また、羽村市教育委員会は、土曜日の授業についてどう考えるか。

12 月 8 日

14 人目

1 番

倉 田 学  
(60 分)

- (4) 授業についていけない児童・生徒にどう対応する考えか。
- (5) 今後の少人数学級編成に対する市の考えを問う。
- (6) 羽村市の各学校では、コミュニティスクール化についてどう考えているか。
- 3. 自転車の車道通行は危険ではないか**
- (1) 羽村市内で、自転車と自動車の接触事故、自転車と歩行者の接触事故は、昨年それぞれ何件あったか。また、その件数は 2000 年と比較してそれぞれどう増減したか。
- (2) 羽村市内の道路のうち、歩道の幅が 2 メートル以上、3 メートル以上の道路はそれぞれ何%か。
- (3) 自転車を車両扱いとし、車道を走るものとした場合の市民の素朴な疑問を問う。
- ① ヘルメットの着用の義務は、バイクにあって何故自転車にないのか。
- ② 通学で自転車を利用する場合、ヘルメットを着用させるべきではないか。
- ③ 車の路上駐車や大型自動車利用で、車道が通行できない場合も歩道を通ることはできないか。
- ④ 市道については排水溝の位置を変えたり車道の段差を解消したりはできないか。
- ⑤ 公職選挙法上、何故、自転車は車両扱いとならないか。
- (4) 道路構造令の条例化により、市町村が定めた基準に基づき道路整備を実施することになったが、羽村市ではどのような点を重視して条例化する考えか。また、その中で自転車専用レーンを設置する考えはないか。

**1. 放射能汚染から子どもを守るため徹底した対策を**

- (1) 市が把握している羽村市内の放射線量で最高値はどれくらいか。
- (2) 小学校、保育園に放射線測定機を常備し、PTA や学校と協力して通学路など細かく測定をおこなえる体制を整えるべきではないか。
- (3) 市民へ貸し出すための放射線測定器の台数を増やすべきではないか。
- (4) 市でおこなっている測定場所の位置について詳しく公表すべきではないか。
- (5) 小学校、保育園、学童クラブの雨どいの雨水が溜まる集水枡の測定を徹底しておこなうべきではないか。
- (6) 現在測定のおこなわれていない私立保育園・幼稚園などに測定器を貸し出し、放射線量測定をおこない情報提供していくよう促すべきではないか。

12 月 8 日

- (7) 市内の公共施設等の放射線量を総点検し、特に雨水や落ち葉の集まる場所など、線量が高い可能性が考えられる場所は徹底した調査をおこなうべきではないか。
- (8) 線量が高い場所について、除染をおこなう基準などの方針を定めるべきではないか。
- (9) 給食の放射性物質の調理前、調理後の検査をおこなうべきではないか。

## **2. 若者の就労支援とひきこもり対策の拡充を**

### (1) 生活保護・就労支援員について

- ① 就労支援員の人数と時間の大幅増が必要ではないか。
- ② 履歴書の書き方から面接の同行などきめ細かに個別指導をしていくべきではないか。
- ③ 生活保護受給者の再就職可能の稼働年齢層に対し、個人に合った個別的就労支援プランを策定していくべきではないか。
- ④ 職業準備プログラムとして、職場体験講習、グループワークを実施してはどうか。

### (2) ひきこもり支援について

- ① 当事者を抱えて悩んでいる保護者をサポートするための保護者向け事業を実施すべきではないか。
- ② 当事者を抱える保護者から必要な支援策などを聞き取り、支援計画を策定していくべきではないか。

- (3) 離職者向けに、雇用保険、住宅手当、生活保護、貸付制度の手続きについて、再就職に向けてのセミナーや関連機関などの情報をまとめてわかりやすく解説された、無料の冊子を作成してはどうか。

## **3. 高齢者福祉の充実と介護保険の改善を**

### (1) おむつ給付事業について

- ① 限度額を引き上げるべきではないか。
- ② 対象条件を緩和すべきではないか。
- ③ メーカーを選択できるようにすべきではないか。

### (2) 羽村市指定家庭用有料ごみ袋について

- ① 世帯収入が生活保護基準以下で生活に困窮している世帯への有料ごみ袋の無料配布を実施すべきではないか。
- ② 70歳以上の高齢者対象に経済的負担の軽減のため年間で一定枚数有料ごみ袋を無料配布してはどうか。

### (3) 介護保険について

- ① 介護保険料を今回の改定で上げるべきではないか。と考えるが市はどのように考えているか。
- ② 小規模多機能型居宅介護と訪問介護の複合型サービスの実施に向けて積極的に取り組むべきではないか。

**1. 公共料金の値上げはやめよう**

## (1) 国民健康保険税について

- ① 来年度からの税額について検討状況はどうか。
- ② 羽村市は引き上げたいと考えているのか。
- ③ 加入者の所得はどう推移しているか。
- ④ 引き上げは行うべきでないと思えるが、どうか。

## (2) 後期高齢者医療について

- ① 来年度からの保険料は、どうなる見通しが示されているか。
- ② 引き上げるべきでないと思えるが、市の見解はどうか。具体的な行動はなされているか。

## (3) その他の公共料金について

- ① 自転車駐輪場の有料化の検討がされているが、無料のままにすべきではないか。
- ② 水道料金の改定が検討されているが、引き上げは行わないべきではないか。
- ③ その他、具体的に値上げ、有料化の検討になっているものはあるか。

## (4) 財政の厳しさが、公共料金の値上げ、有料化の理由になっているが、それであれば、多くの市民から見直しの声があがりつづけている羽村駅西口土地区画整理事業を見直し、お金のかかりすぎない計画へ切り替えることが先決ではないかと思えるが、どうか。

**2. 小中一貫教育は無理なく、現場第一主義で**

## (1) 三中校区の取り組みについて

- ① 12 月までの取り組み状況はどうか。実施計画どおりの進捗となっているか。
- ② 特に、乗り入れ授業の実施状況はどうか。
- ③ 教員の多忙化は増していないか。対策はとられているか。

## (2) 一、二中校区の取り組みについて

- ① 実施計画は、それぞれどんな内容になりそうか。
- ② 三中校区版とくらべての違いはなにか。
- ③ 保護者への説明会はいつ行う予定か。

**3. 産業道路スーパー前や新奥多摩街道などに信号機を**

## (1) 神明台のスーパーアルプス前に信号機設置を求める声がある。市の見解はどうか。都、警察に対してどういう働きかけがなされているか。

## (2) 新奥多摩街道で死亡事故があった。信号機設置を求める声があるが、市の見解はどうか。都、警察に対してどういう働きかけがなされているか。

## (3) 動物公園通りの大型車規制が、工事完了後に解除される可能性がある。改めて、警察へ規制の続行を働きかけるべきだと思えるが、どうか。

**1. 区画整理撤回要求 第 19 弾**

## (1) 「西口区画整理」事業を見直しせよ

- ①西口区画整理は財政難や反対の多さで、仮に進めても長期化は避けられない。それでも強行した時のデメリットは、どんなことが考えられるか。
- ②2次換地設計(案)に反映させられる意見は、換地に関する何件中の何件か。
- ③2次換地設計(案)への反対署名 372 人。事業への反対地権者の土地を、換地設計でどのように扱うのか。
- ④約 30 箇所の事業用地の面積と、その用途を聞く。
- ⑤事業費の中で移転補償費が 230 億円。狭あい道路拡幅なら移転は無く、工事費は 15 億円程度の答弁が 9 月議会であった。税金の使い方としてどちらが市民のためか。
- ⑥新都市建設公社との再延長契約は来年 3 月末で終了する。新規契約をせず、事業を見直す好機にすべきではないか。
- ⑦22 年版「リスク評価・対応調書」などの記述は、権利者や市民の意見への対応として、誠実さに欠けていないか。
- ⑧「先導的都市環境形成事業」のウッド・チップ実証実験はいつどのように活かすのか。

**2. 事業仕分けに、市民参加を**

## (1) 事業仕分けに、市民参加を

- ①羽村市版事業仕分けと掲げている。政府や他市の事業仕分けと違うのか。
- ②評価対象事業の選択は、どのようにしたか。
- ③評価者の選任は、誰がどんな基準でしたか。
- ④事業仕分けに一般市民の参加呼びかけはどのようにしたか。

## (2) パブリックコメントの実効性を聞く

- ①パブリックコメントも行政に対する市民意見だ。パブコメで計画を修正する余地はあるのか。
- ②これまでにパブコメで、修正した例を挙げて欲しい。